

認知症講演会の開催について

1 趣旨

2025年には高齢者の5人に1人が認知症または認知症の何らかの症状が疑われるといわれる中で、認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現が重要になっています。

このことから、標記講演会を通じて、市民や認知症支援関係者が認知症についての理解を深め、地域で認知症の人やその家族を見守り、支えていく体制づくりの推進を目指します。

2 主催

大船渡市 ※市内11地区の助け合い（支え合い）協議会に後援を依頼

3 対象

- (1) 市民
- (2) 認知症の人やその家族と関わる業務等に従事する方
- (3) 地域づくりに取り組む団体

4 定員

300名（9月8日までに参加申込み）※参加費無料

5 日時・会場

令和5年9月9日（土）午前10時から12時10分（午前9時30分開場）

大船渡市民文化会館リアスホール（大ホール）


6 内容

第一部：気仙ボケー座公演（60分）



気仙デイサービスセンターやグループホーム「ひまわり」の職員らが中心となり、ボケ（認知症）への理解をテーマに平成7年に旗揚げされたボランティア劇団。県内外はもとよりオーストラリアでの英語による公演など、これまで300回近い公演を行っている。

なかなか理解されにくい認知症をかかえる人との課題を、より身近に感じてもらえるよう、楽しくユーモラスな劇を通じて認知症への理解を広めている。

<p>第二部：石黒^{ひでのぶ}秀喜氏講演 「あたらしい古い支度」(60分)</p> 	<p>厚生省へ入省後、介護保険指導室長、大臣官房参事官を歴任。平成29年からは「古い支度クリエーター」と称して(公社)認知症の人と家族の会東京都支部の世話人や古い支度講座講師などの社会貢献活動に取り組む。</p> <p>認知症になった義母との関わりから、人生100年時代と人口減少社会の進行を念頭においた著書「上手に老いるための自己点検ノート」を作成し、“自己防衛のすすめ”、“事前指示書作成のすすめ”を提唱している。</p>
--	---

7 申込方法

大船渡市地域包括ケア推進室に下記のいずれかの方法で参加される方の氏名と連絡先をお知らせください。

- ・電 話 0192-26-2943 (土日祝除く午前9時から午後5時)
- ・F A X 0192-27-1589
- ・メール ofu_houkatsu@city.ofunato.iwate.jp

8 備考

認知症とは、脳の細胞が死んでしまったり、働きの悪くなったりしたために障害が起こり、生活する上で支障が出ている状態のことを指します。なかでもアルツハイマー型が6割以上を占め、国際アルツハイマー病協会は、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、世界各地で認知症への理解を呼びかける活動を行われています。それに伴い標記講演会の他にも下記イベントを予定しています。

(1) 認知症にやさしい本集めました図書展

おすすめの本を集めましたのでぜひ手にとってお読みください。きっとやさしくて安心できる本に出会えるはずです。

期 間	令和5年9月6日(水)から9月24日(日)まで。※休館日除く。
会 場	大船渡市立図書館

(2) 認知症ミニパネル展

認知症に関する資料の展示や配布を行います。

期 間	令和5年9月13日(水)から9月27日(水)まで。最終日は午後3時終了。
会 場	サン・リア1階いこいの広場前